

## バリ島・ヌサドアRCを訪れて～口唇口蓋裂の現状と治療

ブックレットを作成してその普及に努めている。この施設で初めて歯磨きをしたという患者も少なくはない。



(訪問先の歯科医院の待合室にて)

インド洋に浮かぶ常夏の楽園バリ島。ダイビングスポットなど幻想的な水中世界に囲まれビーチには高級リゾートホテルが軒を連ねる。舞踊、音楽、絵画などの宮廷文化、ヒンズーなどの宗教文化を受け継ぎ、世界遺産も擁する。スハルト政権のもと、観光開発に成功した島。こんな輝かしい楽園の裏に潜む貧困問題、そして子供たちの健康問題。今般、現地のヌサドア・ロータリークラブから案内を受けた口唇口蓋裂(いわゆる三つ口)(cleft lip and plate、以下 CLP)はバリ島での発生率が極端に高く、ヌサドア・ロータリークラブが1994年から子供たちの手術を支援し、グローバル Grant や他クラブの協力を得ながら、これまでに1700件を超える手術実績を積み上げてきた。このプロジェクトへの参画のお誘いを受けたものの、この病気の実情、現地の対応状況は皆目見当もつかず、まずはこの目でみないと、と視察チームが組成された(佐藤、若林、須藤、荒川、浅野、吉田～敬称略)。

現地ではまず、CLP を手術する病院を案内いただいた。会議室で CLP の概況を教えていただいた。単なる外形だけではなく命にかかわる問題であることも学べた。実際の患者と面談、わが子の CLP を堂々と我々に見せる親。これまでの支援で信頼が築かれているのがわかる。その後、抜糸の現場にも立ち会えた。泣き叫ぶ子供、こうして改善していく。



(宿泊施設で、患者の分布を説明するNPO担当者)

次に手術前後の宿泊施設を訪問。ロータリークラブと協力関係にあるNPOがこの施設を運営。宿泊場所の提供にとどまらず健康や衛生環境の確保などの教育も重要なミッション。



最後に歯科医を訪問。CLP 手術に口内衛生は必須だが、それを安価で請け負っていただける連携先。多くの善意が力を合わせてこのプロジェクトが成り立っているのがわかる。

例会の前に総括プレゼンを受けた。国際色豊かなこのクラブ。この CLP プロジェクトは欧米出身でビジネス実務経験豊かなメンバーが運営。長年の実績、考え抜かれたガバナンス、透明性、これまでも高い評価を受けてきた事由が窺えた。

3 日間にわたり 我々視察メンバーの面倒をみていただいたヌサドア・ロータリークラブの皆さまに心から感謝いたします。

手術前と手術後

